

患者様からのご意見・ご要望

日々患者さまより頂きましたご意見・ご要望に関しては関連する部署の責任者に報告しております。間然すべき点や取り入れたほうが良いことなど出来る限り対応したいと考えております。ご意見の中で特に危険なこと、多くの方が希望していることを優先に対応したいと考えております。もちろん少数意見も対応させて頂いております。

前回に引き続き、今までのご意見の中で多くいただいたものや最近よくいただくご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させていただきます。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせください。

ご意見・ご要望	改善等
冷水機について	『冷水機の紙コップが使いにくい。水を半分くらいこぼしてしまう』『取りづらいう上に飲みづらいです。1回に何枚も取れてしまう。』とのご意見をいただきました。 当初は普通の紙コップを設置しておりましたが、新幹線タイプの紙コップに変更しました。これは紙コップを病室へ持って帰られる方が多くなってしまったために、止むを得ず変更いたしました。ご了承ください。現段階では、冷水機・紙コップの交換を考えるとおりませんで、次回変更する際に対応を考えさせていただきます。ご意見ありがとうございました。
トイレの石鹸について	『身障者用のトイレに石鹸がない。』とのご意見をいただきました。 石鹸の設置はされておりますが、補充がされていなかったことと思われます。毎日の清掃時に補充と不足点検を強化いたします。ご意見ありがとうございました。
小児科の面会について	『小児科に入院すると兄弟が病室に入れないので預かる人がいないと本当に困ります。せめて面会時間だけでも、病院内に保育所があると助かります』とのご意見をいただきました。 『入院のご案内』に記載させていただいておりますが、全ての病棟において乳幼児、風邪などの方は面会をご遠慮いただいております。小児病棟において小さなお子様(低学年学童含む)のご面会を控えていただいている理由としては、小さなお子様は感染症(麻疹・風疹等)の抗体をお持ちでない方が多く、面会時に入院中のお子様と面会したお子様との間で感染してしまうリスクが高いことからです。特に入院中のお子様は体力も落ちていることから感染になる可能性が高いです。また、感染症は潜伏期間があり症状がない場合にも、感染をしている可能性があります。小さなお子様のいらっしゃる方はお見舞いをするにも大変だと思われませんが、小児病棟の面会制限は院内感染をおこし、皆様に迷惑をお掛けしない為ですので、ご理解とご協力をお願いいたします。また、一時預りのできる保育所については院内の設置は困難ですが、面会の運用については検討させていただきます。ご意見ありがとうございました。
インターネットの更新について	『インターネットで受付時間を調べて行ったが、現在の受付時間とは違った。更新はキチンとされているのか』とのご意見をいただきました。 現在、各科の外来受付時間はインターネットで公開されている通りです。しかしながら、各科外来担当医師が休診となった場合や病棟の患者さまが急変し、その対応の為、診療受付時間が短縮されることがあります。このことについては、受付等でご案内ができるよう徹底させていただきます。診療科の受付時間の変更がございましたら、ホームページや外来のご案内の更新をさせていただきます。なお、予約外で受診の場合は外来にお電話をいただいた上でお越しいただくようお願いいたします。ご意見ありがとうございました。
備品利用方法の説明について	『歩行補助具の利用方法について入院時に案内していただいた方が良く、知らなかったので注意された(了解を得て使っていたのに)』とのご意見をいただきました。 病棟の車椅子、松葉杖、歩行器は、入院中に一時使用が必要な患者さまの為に配置されております。一患者さまがそれらを占有する場合には売店においてレンタルをしていただいております。入院時の説明につきましては、入院案内をお渡ししております。しかしながら、入院中必要なものリストの中には使用する事が限定されることから歩行器等のレンタルのご案内がございませんでした。入院中に必要になるものに関して、入院時のご案内のできる方法を検討させていただきます。ご意見ありがとうございました。
受付のマナーについて	『初めての人や老人にはもっと丁寧に説明をしてほしい』とのご意見をいただきました。 受付は病院を訪れ一番初めに患者さまと対面させていただき、医療が始まる場所だと思います。また、診察中も様々な部門の受付で患者さまの窓口対応や診察後も会計等直接患者さまの診療には携わらないにしても、受付の対応はとても重要なことだと思います。病院として受付の対応を行なっている1人1人が病院の顔であるという自覚を持ち、患者さまと接することのできるよう指導をさせていただきます。患者さまがご満足いかない点も多くあると思いますが、努力して改善させていただきます。ご意見ありがとうございました。
BGMについて	『毎回、行くたびに同じ曲で落ち込みそう。もっと楽しく聞いていて精神がやすらぐ曲にしてほしい。聞いていてつまらない。』とのご意見をいただきました。 現在、毎日複数枚の同じCDを繰り返し流しております。曲はクラシックで皆さんが聞いていて耳障りでないようなものを配慮して選んでおりましたが、入院患者さまは同じ曲を毎日聞いていることからこのようなご意見をいただいたものと思っております。BGMについてのご意見は今まで頂いておりませんでしたので、検討させていただきます。ご意見ありがとうございました。

編集後記

9月前半の厳しい残暑が去りやっと涼しい気候になってきました。急激な気温の変化で体調を崩していないでしょうか、季節の変わり目は気をつけましょう。

秋です。秋にはいろいろな秋があります。スポーツの秋、食欲の秋、芸術の秋、読書の秋などがすぐに思いつきます。皆さんはなにの秋でしょうか。仕事に忙しいでしょうが、秋を満喫できる余裕も欲しいものです。紅葉が色づくのももうすぐです。紅葉を見ながら一日ゆったりと、目の保養をしたいですね。

広報委員会 委員 小池 正直

北部病院だより 第13号

平成15年10月1日発行

発行責任者 田口 進(昭和大学横浜市北部病院長)

編集責任者 島田 誠(広報委員会 委員長)

発行 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL : <http://www10.showa-u.ac.jp/~hokubu/>

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』がダウンロードできます。

北部病院だより 第13号

第13号【2003/10/01 発行】

発行者：昭和大学横浜市北部病院

巻頭言

「 見えない医者 」

病院病理科科长・助教授 塩川 章

イベント情報

ボランティアさん懇親会(西棟1階)

院内感染対策講演会(中央棟9階大会議室)

病院からのお知らせ

日本医療機能評価審査結果について

医師の配属・異動・退職

診療統計

外来担当表

患者様からのご意見・ご要望



栗 見ても食べても秋を感じますね!

巻頭言

「 見えない医者 」

正面玄関に入って右側壁面の病院案内に呼吸器センター、消化器センター、内科、外科などと並んで病理科の文字があるのに気付かれたでしょうか?しかし、外来や病棟の一覧にはみあたらず、かかったという患者さんもおられません。「なーんだ、名前だけで実際には何もやってないんじゃないの」などと言われては困ります。先日、テレビ放送された「検証・ニッポンの医療」という番組でも取り上げられましたので、ご存知の方もおられると思いますが、皆さんの目には触れないところで働いているのです。

患者さんを適切に治療するためには適切な診断が必要となります。血液検査やレントゲン検査など様々な検査を行っても結論が出ないときが病理検査の出番です。外科医・内科医・産婦人科医などの臨床医が患者さんの体より採取した組織や細胞からつくられたガラス標本を顕微鏡で観察して診断するのが病理診断で、それを行うのが病理医です。その結果は主治医に報告され、治療に生かされます。正しい診断には、臨床医と病理医の連携プレーが欠かせません。病院に病理医がいることは、より良質の医療を提供することにつながり、北部病院が『こころこもる病院』であり続けるためにもとても大切なことです。病理診断には以下のようなものがあります。

細胞診断：肺癌や膀胱癌では痰や尿の中に癌細胞が混じることがありますので、顕微鏡で癌細胞の有無をみるのが細胞診断です。子宮頸部から細胞を擦りとりたり、のどや乳房のしこりに細い針を刺して吸引することもあります。

生検組織診断：胃・大腸や肺の内視鏡検査を行った際に病変の一部をつまみ採ったり、皮膚などのできものの一部をメスなどで切りとったりして標本にします。この検査を「生検」といい、その診断を生検組織診断とよびます。

手術で摘出された臓器の診断：摘出された臓器は、病理医が肉眼で観察して必要な部分を切り出し、臨床検査技師が顕微鏡標本をつくります。病理医が標本を顕微鏡で観察して、どのような病変がどれくらい進行しているか、手術でとりきれたのか、癌の場合、タチの悪さや転移の有無など、治療方針の決定に役立つ情報を提供します。

手術中の迅速診断：病変が体の深い部分にあり生検が難しい場合、手術前に病理診断ができず、「術中迅速診断」を行います。手術中に採取された病変組織から20分程度で病理診断が行われ、執刀医に連絡されて手術方針が決定されます。切除した断端を調べたり、転移が疑われる部分を調べて手術する範囲を決めるのにも役立ちます。

病理解剖：ご遺族の承諾のもとに、病死された患者さんのご遺体を解剖させていただくのが「病理解剖」です。生前の診断は正しかったのか、どのくらい病気が進行していたのか、治療は適切であったのか、効果はどれくらいあったのか、死因は何か、といったことを判断します。病理解剖の肉眼所見は、病理医から主治医へと報告され、ご遺族に説明されます。なお、顕微鏡所見を含めた最終診断にはもう少し時間が必要です。病理解剖の結果が蓄積されることによって、他の方法では得がたい医学の進歩への貢献が期待されます。病理解剖はある意味で個人がなすうる社会への最後の貢献といえます。

私たち医療従事者は患者さんに質の高い医療を提供することを第一の目的として努力を重ねていますが、新しい診断法や治療法を開発するための医学研究や医療技術者の教育も同時に行われています。病理検査に用いた検体は追加検査を行う場合に備えて保存してありますが、これを用いて医学研究・教育などの発展に寄与することができます。この場合、プライバシーの保護に細心の注意を払って行いますので、ご理解のほど何とぞよろしくお願い申し上げます。

なお、私どもは納得のいく医療がつけられるようにセカンド・オピニオンについては双方向での協力を惜しみません。遠慮せずにお申し出ください。

北部イベント

ボランティアさんとの懇親会

西棟 1 階



9月18日(木)に日頃の活動に対する感謝の意をこめ、病院長主催によるボランティアさんとの懇親会が行われました。11名の登録者の内、10名のほぼ全員に近い参加を頂き、代表で出席した病院職員と日頃の外来や病棟での活動について和やかに話し合いながら、昼食をとりました。殆どの方が病院まで徒歩圏内の地域住民の方で、北部病院を地域にとって良い病院にしたいという熱意がひしひしと伝わってくるひと時でした。最後にメンバーひとりひとりに感謝状が手渡されました。日々、黄色いエプロン姿で活動しているボランティアさんを見かけたら、ぜひ「ご苦労さま、ありがとう」の一声をかけてあげてください。それがなにより一番の感謝状かと思えます。

感染対策講習会

中央棟 9 階大会議室

9月19日(金)に院内感染対策委員会(臨床検査科)主催による感染対策セミナーを行いました。北里大学医学部感染症学/北里研究所 抗感染症薬研究センターより、花木秀明センター長代理を講師に招いて、最近注目を集めているMRSAの治療のコツや留意すべき落とし穴について具体的に講演いただきました。



当日は、予防策として有効な薬剤の組み合わせ、菌による膿瘍(うみ)に有用な薬剤等を明示して講演していただきました。院長をはじめ、職種を問わず多くの参加者があり、明日から直接役立つ情報が得られたいへん実りの多い講演会でした。

患者さまへのお知らせ・お願い

日本医療機能評価審査結果について

2003/8/1 発行(第11号)でもお知らせさせていただきましたが、7月2日~4日の3日間、日本医療評価機構による病院の訪問審査を受けました。当院の審査結果については、9月22日評価委員会承認で『認定証を発行する』ことが決定いたしました。当院は認定証を頂くことができましたが、この結果に満足することなく、より良い病院を目指していきたいと思えます。なお、評価機構認定病院や審査内容につきましては評価機構ホームページで参照できますので。(ホームページアドレス: <http://jcqhc.or.jp/html/>)

医師の配属・異動・退職

新規配属医師

10/1付【9/2~10/1】

加藤 博久
(消化器)

昭和大学
昭和62年卒

松丸 憲太郎
(メンタル)

昭和大学
平成9年卒

神山 一行
(リハビリ)

東海大学
平成11年卒

椎木 一彦
(泌尿器)

山梨医科大学
平成7年卒

異動・退職医師

9/30付【9/1~9/30】

異動: 千坂 奏 (メンタルケアセンター) 昭和大学烏山病院 精神神経科へ
退職: 崎岡 岩雄 (メンタルケアセンター) 木林 潤一郎 (産婦人科)

診療統計

2003年8月統計データ()内は1日平均
外来患者数 25,205人(969.4人)、入院患者数 16,723人(539.5人)、救急車搬送件数 275人(8.9人)、手術件数 400件(19.0件)

外来担当表

【2003/10/01 改定】

外来予定は都合により変更する場合がございますのでご了承ください。

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
呼吸器センター	門倉光隆(初再診) 笠原慶太(初再診)	笠原慶太(初診)	鹿間裕介(再診)	大塚和朗(初診)	西片 光(初診)	医局員(初診)	鹿間裕介(初診)	神尾義人(再診)	門倉光隆(初再診)	松田正典(初診)	医局員(初診)
消化器センター	深見悟生 竹内 司 佐々木/永島	竹内 司 加藤博久(隔)	田中淳一 大塚和朗 加藤博久(隔)	大塚和朗 辰川貴志子 辰川貴志子	木暮悦子 深見悟生 大谷/大前	深見悟生 深見悟生 小幡まこと	井上晴洋 出口義雄 菅島圭太	薄井信介 永田浩一 菅島圭太	大塚和朗 為我井芳郎 加藤博久(隔)	大塚和朗 為我井芳郎 倉橋利徳	為我井/小池 白高英二 里館/山口
循環器センター	緒方信彦 高垣昌巳	手取屋岳夫	落合正彦		小原千明 沖 淳亮	沖 淳亮	落合正彦 荒木 浩	佐久間浩子 岡林宏明	岡林宏明 加藤源太郎	加藤源太郎 林宗博(偶)	医局員
精神神経科(初診)	工藤行夫		吉益晴夫		秋元洋一		西岡玄太郎		野崎伸次		田邊祐二
精神神経科(再診)	田邊祐二		秋元洋一		野崎伸次		吉益晴夫		工藤行夫		松丸憲太郎
精神神経科(再予)	山縣 文		佐野奈々		古田伸夫	松丸憲太郎(物忘れ外来)	伊川太朗		西岡玄太郎	古田洋一(物忘れ外来)	田中聡史
精神神経科(再予)				高宮有介(予約のみ)	山縣 文			小城幸乃			小城幸乃
内科(緩和ケア)		坂下暎子(予約のみ)						高宮有介(予約のみ)			
内科(23-2)	富田高重(内科消化器)	富田高重(内科消化器)	富田高重(内科消化器)		菊嶋修示(循環器不整脈)	菊嶋修示(循環器不整脈)			菊嶋修示(循環器不整脈)		菊嶋修示(循環器不整脈)
内科(23-3)	衣笠えり子(内科腎臓)		衣笠えり子(内科腎臓)		衣笠えり子(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)	坂下暎子(内科血液)			川崎仁志(神経疾患)	医局員
内科(23-5)	坂下暎子(内科血液)	高橋 健(内科腎臓)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	三代川章雄(内科消化器)	三代川章雄(内科消化器)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	三代川章雄(内科消化器)
内科(25-2)	佐藤 温(内科消化器)	佐藤 温(内科消化器)	佐藤 温(内科消化器)		木村 聡(内科・感染症)				佐藤 温(内科消化器)		医局員
内科(25-3)	田口 進(内科消化器)	田口 進(内科消化器)	田口 進(内科消化器)	田口 進(内科消化器)			田口 進(内科消化器)		田口 進(内科消化器)		
内科(25-5)	荻原 徹(糖尿病、内分泌)		嶋田 顕(内科消化器)	嶋田 顕(内科消化器)	荻原 徹(糖尿病、内分泌)	荻原 徹(糖尿病、内分泌)	嶋田 顕(内科消化器)	嶋田 顕(内科消化器)	荻原 徹(糖尿病、内分泌)	荻原 徹(糖尿病、内分泌)	荻原 徹(糖尿病、内分泌)
内科(25-6)		三上哲弥(内科消化器)		渡邊浩之(一般内科)			三上哲弥(内科消化器)	三上哲弥(内科消化器)	渡邊浩之(一般内科)	渡邊浩之(一般内科)	三上哲弥(内科消化器)
内科(25-7)			辻 正富(糖尿病、内分泌)	辻 正富(糖尿病、内分泌)	伊藤英利(内科腎臓)	伊藤英利(内科腎臓)	辻 正富(糖尿病、内分泌)	辻 正富(糖尿病、内分泌)	伊藤英利(内科腎臓)	伊藤英利(内科腎臓)	辻 正富(糖尿病、内分泌)
小児科	野中善治	予防接種予約のみ	野中善治	乳児検診予約のみ(新生児科)	北澤重孝	野中善治	成育外来予約のみ	野中善治	成育外来予約のみ	野中善治	乳児検診予約のみ(新生児科)
	高野忠将		板橋家頭夫		高野忠将	京田学晃		高野忠将		板橋家頭夫	西岡貴弘
小児外科		杉山彰英		大橋祐介		五味 明		大橋祐介		五味 明	杉山彰英(奇) 真田 裕(偶)
皮膚科(初16-3)	宋 寅傑		濱口太造	宋 寅傑	島田洋子		濱口太造	宋 寅傑	島田洋子	島田洋子	宋 寅傑
皮膚科(再16-1)	濱口太造	三浦久美子	宋 寅傑	濱口太造	三浦久美子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子
皮膚科(再16-2)	三浦久美子	外科手術	長村蔵人	外科手術	長村蔵人	外科手術	三浦久美子	外科手術	長村蔵人	外科手術	
外科	中村明央		新井一成		新井一成		新井一成		中村明央		中村明央(奇) 新井一成(偶)
形成外科	大塚尚治		野田弘二郎		大塚尚治		(大塚/野田)		野田弘二郎		野田弘二郎(奇) 野田(2,4,5週)
脳神経外科(初再診)	池田尚人(診断書外来)		医局員(当日のみ)		池田尚人	退院後外来	川村典義		川村典義		川村典義(奇) 池田尚人(偶)
脳神経外科(再診)	畑山和己(予約のみ)	池田尚人(予約のみ)	医局員		川村典義(予約のみ)		桑沢二郎(奇)予約のみ	池田尚人	池田尚人(奇)	川村典義(偶)	
整形外科	松久孝行 川崎恵吉	医局員(初診外来) 医局員 ギプス診予約のみ	西山嘉信 山村拓也 渡邊兼正	医局員 山村拓也 渡邊兼正	逸見範幸 松久孝行 富田一誠	逸見範幸 ギプス診予約のみ 富田一誠	西山嘉信 山村拓也 川崎恵吉	逸見範幸 富田一誠 渡邊兼正	逸見範幸 富田一誠 渡邊兼正	逸見範幸 富田一誠 渡邊兼正	医局員 医局員 医局員
産婦人科(初12-7)	下平和久(奇) 鈴木紀雄(偶)		高橋 諄(長谷川潤一)		高橋 諄(折坂 勝)		小塚和人(下平和久)		小川公一		鈴木紀雄
産婦人科(産科12-1)	長谷川潤一		小川公一		下平和久		近藤哲郎		鈴木紀雄		
産婦人科(産科12-6)	高橋 諄 折坂 勝			特殊診予約のみ		特殊診予約のみ		宮本真豪		特殊診予約のみ	
産婦人科(産科12-8)	小川公一		鈴木紀雄		近藤哲郎		高橋 諄		下平和久		鈴木紀雄
産婦人科(産科12-6)			長谷川潤一		折坂 勝				宮本真豪		
泌尿器科(初再診)	佐々木春明	泌尿器検査予約のみ	医局員(初)		鈴木俊一	泌尿器検査予約のみ	医局員(初)		島田 誠	泌尿器検査予約のみ	医局員(初)
泌尿器科(再診)	島田 誠	女性外来予約のみ			青木慶一郎		鈴木俊一		佐々木春明	男性外来予約のみ	医局員(再)
眼科	玉井裕子 大野 淳 恩田麻維子	特殊診(玉井) 大野 淳 恩田麻維子	小池正直 大野 淳 恩田麻維子	大野 淳 恩田麻維子	紀平弥生 玉井裕子	紀平弥生 玉井裕子	小池正直 紀平弥生	特殊診(小池) 玉井裕子	紀平弥生 玉井裕子	特殊診(紀平) 玉井裕子	小池正直(奇) 紀平弥生(偶) 玉井裕子(奇) 恩田麻維子(偶)
耳鼻咽喉科13-2	門倉義幸(初診)	めまい外来再診・予約のみ	池田尚弘	アルミ-外来予約のみ	医局員(初診)		柳裕一郎(初診)		医局員(初診)	腫瘍外来(月2)甲狀腺外来(月1)予約のみ	医局員(初診)
耳鼻咽喉科13-2	徳丸岳志(再診)		森本 呉(再診)	小児外来予約のみ	医局員(再診)		門倉義幸(再診)		医局員(再診)	味覚外来予約のみ	
耳鼻咽喉科13-3	柳裕一郎(再診)		柳裕一郎(再診)	小児外来予約のみ			池田尚弘(再診)				
耳鼻咽喉科13-5		補聴器外来予約のみ(奇)			補聴器外来予約のみ(偶)				補聴器外来予約のみ		

放射線治療の外来日は、月火木金：馳澤憲二です。